

# 個別排水事業経営状況

資料 1 - 3

## 1. 平成29年度 個別排水事業決算（見込み）

### (1) 総括事項

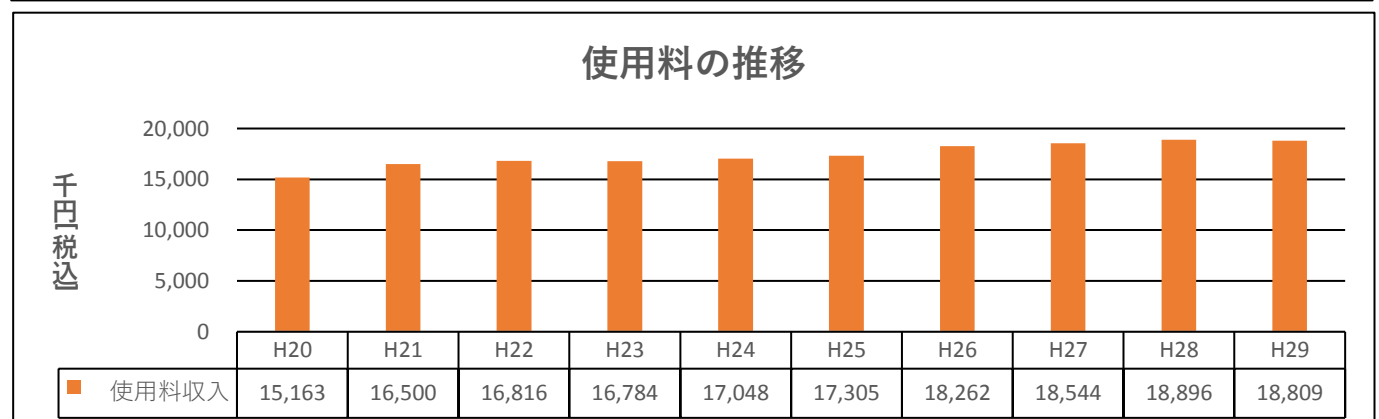
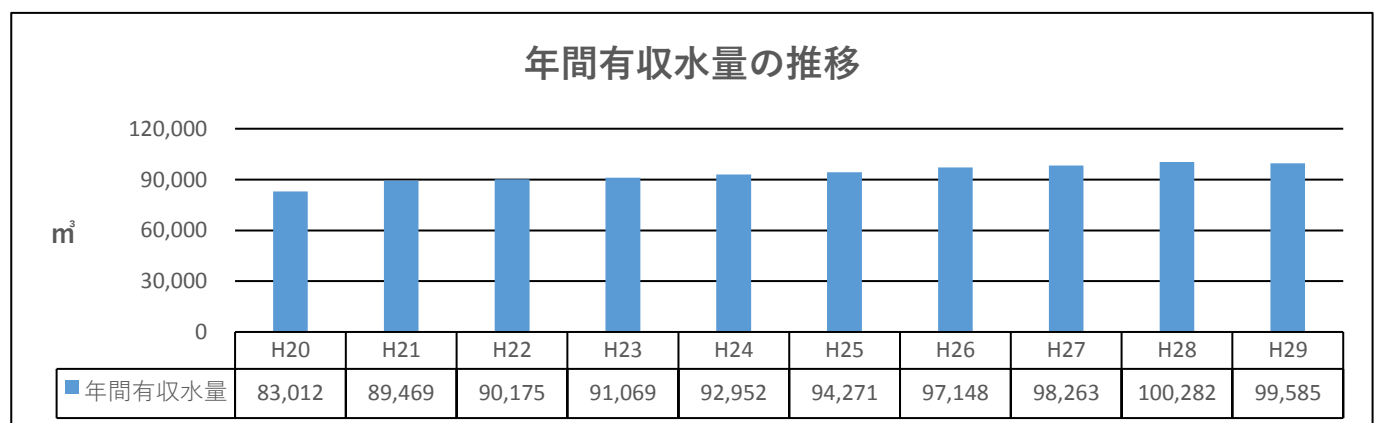
平成29年度における合併浄化槽人口は、2,509人で、合併浄化槽設置対象区域である下水道認可区域外人口に対する水洗化率は70.0%となっております。（有収率については、処理数量が有収水量となるため、100%となります。）

合併浄化槽設置数は新たに10基新設し、市設置数514基、私設5基（うち自衛隊1基）、合計519基となっております。（市設置のうち7基が廃止、12基が休止のため、供用中は市設置が495基、私設5基の合計510基）

### 【主な施設状況】

事 項	単位	H29年度	H28年度	対前年度比較	備考
行政区域内人口	人	27,557	27,944	△ 387	住民基本台帳3月末人口
下水道認可区域外人口	人	3,584	3,608	△ 24	合併浄化槽設置対象となる下水道認可区域外の3月末人口
水洗化人口	人	2,509	2,487	22	住民基本台帳上の下水道利用者数
水洗化率	%	70.0	68.9	1.1	合併浄化槽人口/下水道認可区域外人口
合併浄化槽数	基	500	495	5	3月末現在供用中の合併浄化槽数
年間総処理水量	m <sup>3</sup>	99,585	100,282	△ 697	市設置の合併浄化槽で汚水をきれいに処理した水量（※）
年間有収水量	m <sup>3</sup>	99,585	100,282	△ 697	料金算定の対象となる家庭等で使用した水量（※）
有収率	%	100.0	100.0	0.0	年間有収水量/年間汚水処理水量

※水量は私設分を除く



## (2) 決算額（歳入・歳出）

平成29年度の決算状況については、全体で84,520千円となっており、前年度と比べて1,986千円増加しております。

歳入では、地方債の対象とならない合併浄化槽の移設が要因となり、一般会計からの繰入金が増額しております。

歳出では、浄化槽設置工数の増加に伴う維持管理費用の増により個別排水事業費が2,471千円、支払利息の減により公債費が484千円減、消費税が還付となったことにより諸支出金は0円となっております。

歳入

(単位：円[税込])

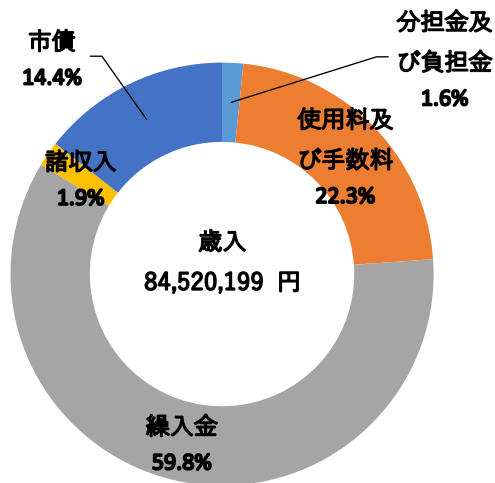
科目	H29当初予算	H29決算見込	H28決算	差額	増減率
分担金及び負担金	1,951,000	1,361,870	1,349,460	12,410	0.92%
使用料及び手数料	19,326,000	18,817,860	18,906,950	△ 89,090	△ 0.47%
繰入金	52,336,000	50,523,083	48,458,966	2,064,117	4.26%
諸収入	1,502,000	1,617,386	1,718,603	△ 101,217	△ 5.89%
市債	17,500,000	12,200,000	12,100,000	100,000	0.83%
合計	92,615,000	84,520,199	82,533,979	1,986,220	2.41%

歳出

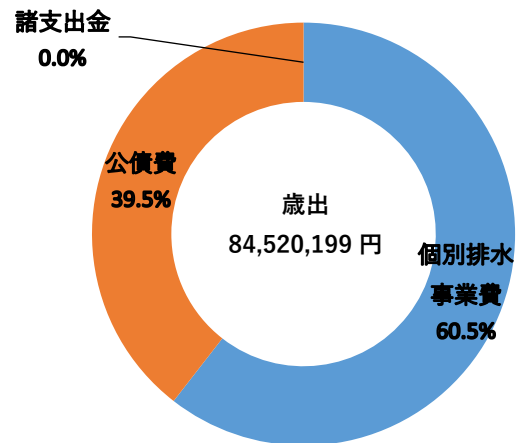
(単位：円[税込])

科目	H29当初予算	H29決算見込	H28決算	差額	増減率
個別排水事業費	58,288,000	51,156,298	48,685,583	2,470,715	5.07%
公債費	34,227,000	33,363,901	33,848,396	△ 484,495	△ 1.43%
諸支出金	100,000	0	0	0	—
合計	92,615,000	84,520,199	82,533,979	1,986,220	2.41%

H29 個別排水事業 歳入の構成割合



H29 個別排水 歳出の構成割合



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

### (3) 平成29年度の主な事業

◎浄化槽整備事業 《市債・分担金》

15,047千円

合併浄化槽を平成8年度から平成28年度までに504基の整備を行っており、平成29年度には10基の整備を行い、計514基（名寄267基、風連247基）となった。

#### 【整備内容】

##### ・実施地区

名寄地区	4基
風連地区	6基

##### ・人槽別

5人槽	7基
7人槽	2基
10人槽	1基

(施工写真①・底版据付)



(施工写真②・浄化槽設置)



## 2. 平成30年度個別排水事業予算の概要

### (1) 予算額（歳入・歳出）

平成30年度予算については、歳入は合併浄化槽の整備数の減を予定し、市債等が減額となる見込み、歳出は個別排水事業費1,983千円減、公債費340千円の減とし、全体で90,292千円の予算としています。

歳入

(単位：千円[税込])

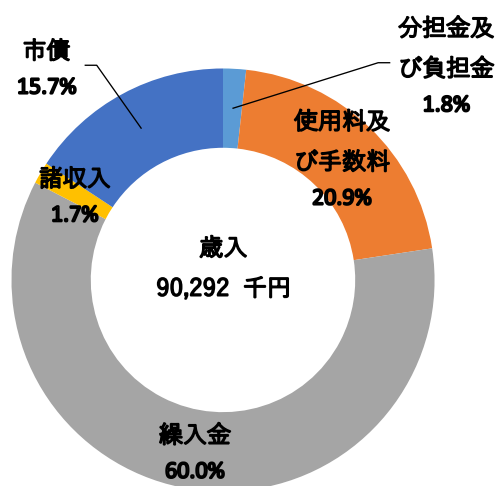
科目	H29当初予算	H30予算	差額	増減率
分担金及び負担金	1,951	1,581	△ 370	△ 18.96%
使用料及び手数料	19,326	18,834	△ 492	△ 2.55%
繰入金	52,336	54,176	1,840	3.52%
諸収入	1,502	1,501	△ 1	△ 0.07%
市債	17,500	14,200	△ 3,300	△ 18.86%
合計	92,615	90,292	△ 2,323	△ 2.51%

歳出

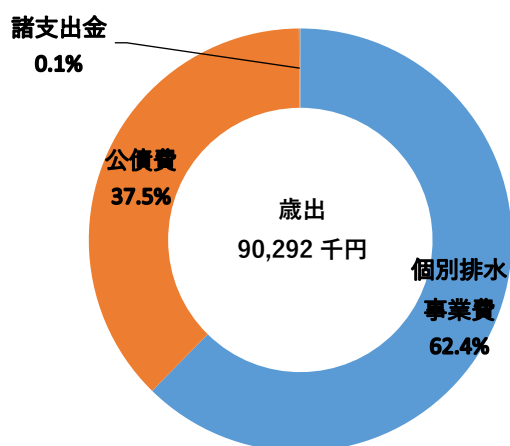
(単位：千円[税込])

科目	H29当初予算	H30予算	差額	増減率
個別排水事業費	58,288	56,305	△ 1,983	△ 3.40%
公債費	34,227	33,887	△ 340	△ 0.99%
諸支出金	100	100	0	0.00%
合計	92,615	90,292	△ 2,323	△ 2.51%

H30 個別排水事業 歳入の構成割合



H30 個別排水事業 歳出の構成割合



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。